

科目	単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)		
助産管理学	2 (30)	1 学期	① 伊藤 美栄 (助産師)	(18)	
		2 学期	② 左古 かず子 (助産師)	(2)	
			③ 吉川 敏子 (助産師)	(4)	
		④ 川本 陽子 (助産師)	(6)		
目 標					
助産業務の管理および病院・助産所の管理の基本と、周産期の医療安全・連携・協働について必要な基礎的知識を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	助産管理の 実際	1) 助産管理の概念	講義	①伊藤 美栄
			2) 助産所における助産管理 ①助産所に関する関係法規 ②助産所の安全管理 ③助産所の経営 ④医療機関との連携 オープンシステム、助産外来・院内助産		
			3) 周産期医療における連携・協働 周産期医療システムについて		
2	2		4) 地域における助産管理 ・地域/多職種との連携と助産師の役割 ①地域包括ケアシステム ②子育て世代包括支援センター	講義	
3	2		③地域における助産所の活動 女性の健康と助産師 地域における助産師の役割、連携	講義	②左古 かず子
4	2	周産期医療 システム	1) 地域における周産期医療体制 各自の出身都道府県の周産期医療体制についてプレゼンテーション1	講義	①伊藤 美栄
5	2	助産管理の 基本と助産 業務管理	1) 管理の基本、過程 ・業務分析・目標管理・評価 ・PDCA サイクル	講義	
			2) 助産業務管理の基本 ・人事、物品、経済、情報、時間 ・人材育成		
6	2		3) 地域との連携、ネットワーク	講義 GW	
			4) 業務の質の管理 助産サービスの評価		
			5) 助産業務管理の実際 産科病棟における看護師長業務		

7	2	助産管理の 基本と助産 業務管理	6) 病院における助産業務管理の実際 ①産科棟における助産管理 ・看護サービスマネジメントと診療報酬 ・業務基準・手順の作成と検討 ・看護記録 ・教育の管理	講義	②川本 陽子
8	2		②外来の助産管理 ③周産期医療事故とリスクマネジメント		
9	2		④災害とリスクマネジメント ⑤周産期医療システム下における助産師の活動の実際		
10	2		7) 助産所における業務管理の実際 ・助産所運営の実際 ・助産所業務ガイドライン ・嘱託医の連携・協働 ・オープンシステムの運営 ・産後ケア事業の実際		
11	2				
12	2	助産業務と 医療経済	1) 医療保険制度 2) 助産業務と診療報酬 3) 分娩費用	講義	①伊藤 美栄
13	2	周産期にお ける医療安 全	1) 周産期のリスクマネジメント ①医療事故防止、感染対策 ②事故対応と損害賠償 ③産科医療補償制度 2) 災害とリスクマネジメント 災害対策・支援活動	講義	
14	2	助産師及び 助産師の業 務に関わる 法と責任	1) 助産業務に関わる関係法規 ・関係法規	講義	
15	1		・法的責任と義務		
16	1	終講試験 (45分)			①
授業形態	講義				
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 (講師①④ 100点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。				
テキスト	講師①～④ ・助産学講座 10 ・新版 助産師業務要覧 2023年版 [Ⅰ基礎編] ・新版 助産師業務要覧 2023年版 [Ⅱ実践編] ・新版 助産師業務要覧 2023年版 [Ⅲアドバンス編]				
参考図書等	・助産業務ガイドライン 2019 ・下記のものには必要に応じて、各種ホームページよりダウンロードしておくこと。 ・院内助産・助産師外来ガイドライン (日本看護協会) ・産後ケア事業ガイドライン (厚生労働省) ・子育て世代包括支援センター業務ガイドライン (厚生労働省) ・分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド (日本看護協会)				
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。				

